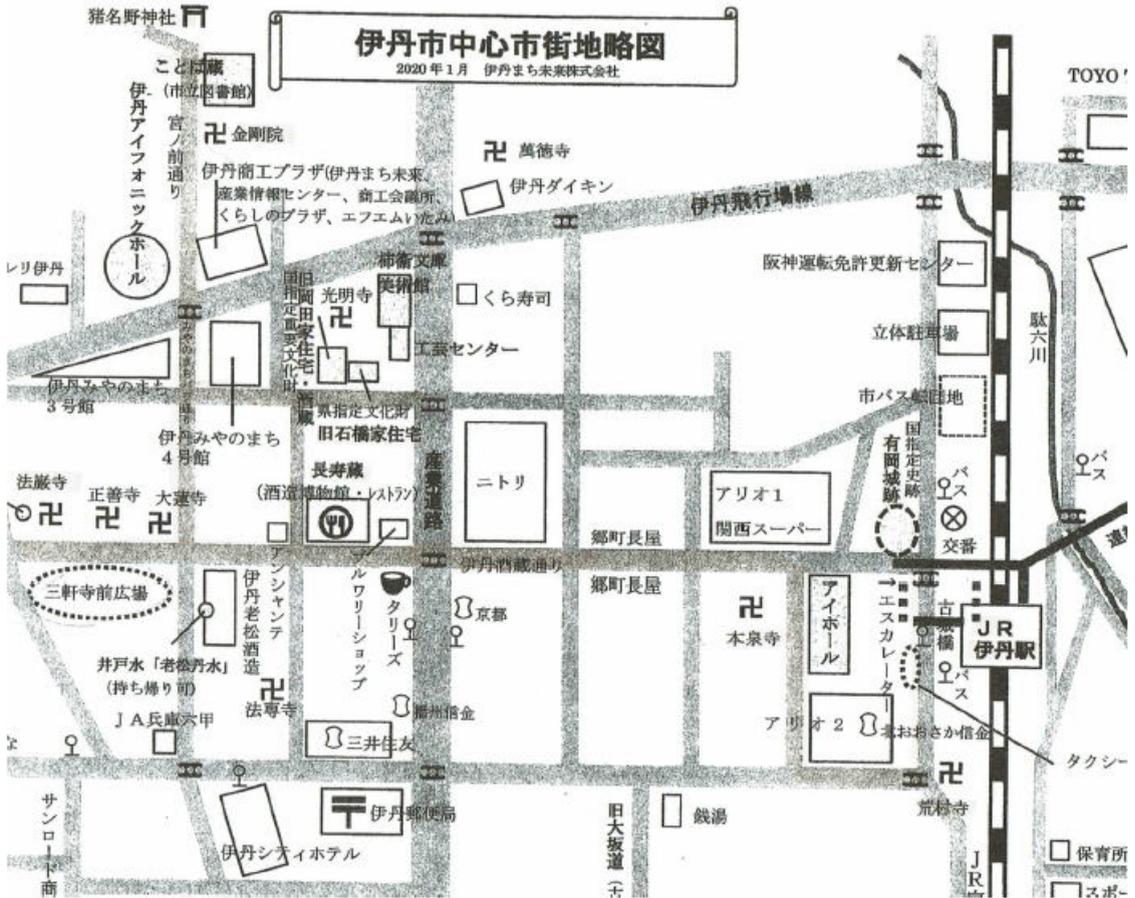


有岡城跡から旧岡田家住宅まで歩いて探訪



【行程】有岡城跡→荒村寺→本泉寺→酒蔵通り→法蔵寺→金剛院→猪名野神社→旧岡田家住宅

9時50分に有岡城跡に集合し、2班に分かれて、伊丹市文化財ボランティアの会の皆さんにガイドをしていただきました。お天気にも恵まれ、ガイドさんの説明もわかりやすく、街並みも美しく、楽しい一日でした。コロナ禍で、午前中だけだったのが残念でした。



有岡城跡（下：礎石建物跡）



荒村寺

#### ①有岡城跡

南北朝時代に摂津の伊丹氏によって建てられ、日本最古の天守台をもつ平城である。1574年に荒木村重に攻め落とされ、伊丹城から有岡城に改称した。周囲に堀と土塁をめぐらし、町屋敷や町屋を配した惣構えの構造で、難攻不落の名城として知られている。

昭和50年代初めの発掘調査で、JR伊丹駅一帯に有岡城の主郭部があったことがわかり、今はその一部が有岡城跡として保存され、史跡公園として整備されている。

#### ②荒村寺

荒木村重ゆかりの寺（曹洞宗）。村重の菩提を弔うために建てられたとも伝えられ、位牌もある。また、庭前には鬼貫の句碑もある。

1977年に国鉄伊丹駅再開発事業により、現カリヨン塔付近から現在地に移築された。



本泉寺本堂



楠公の墓

### ③本泉寺

1560年、慈雲院日栖上人が戦死者を弔うために建てたことに始まる。1696年、現在地に本堂を建立した。本堂は、桁行 19m、梁間 12.5mで、市内に現存する最大・最古の木造建築寺院である。

楠木正成、正行親子の墓は、伝説や顕彰も含めて全国に数基確認されているが、こちらの墓は天保年間（1830年代）の伊丹古地図にはすでに記されていた。



酒蔵通り（長寿蔵）

### ④酒蔵通り

伊丹は清酒発祥の地と言われ、江戸積酒造の銘醸地として発展した。伊丹の酒は江戸ではうまい酒の代名詞になり、将軍家の御前酒になった銘柄もある。江戸末期から明治にかけて急激に衰退し、今では2軒（白雪、老松）が残るだけとなった。



法厳寺（三軒寺の一つ）

⑤法厳寺

京都知恩院の末寺（浄土宗）。寺伝によると元は昆陽寺の塔頭の一つで、昆陽村にあった。後に荒木村重の要請でここに移されたとのこと。

本堂横にあるクスノキは2015年の調査で、樹齢580年、幹周り6.45m、樹高28mとわかった。兵庫県天然記念物に指定されている。



金剛院（薬医門）

⑥金剛院

京都仁和寺の末寺（真言宗）。宇多法皇の勅願により醍醐寺の聖宝僧正が薬師如来像を本尊として開基したという記録が残る。またの名を「野の宮寺」といい、猪名野神社の別当を勤める寺でもあった。



#### ⑦猪名野神社

904年の創建で、祭神は猪名野坐大神（いなのにますおおかみ）。伊丹郷町の氏神で、古くは「野宮（ののみや）」「天王宮」「牛頭天王宮」などと呼ばれ、1869年（明治2年）に神仏分離に伴い「猪名野神社」に改められた。

また、戦国時代に有岡城の北端に位置し、惣構えの「岸の砦」が置かれていた場所にある。



猪名野神社



伊丹郷町館（旧岡田家住宅）

#### ⑧旧岡田家住宅

重要文化財。江戸初期の町家で、年代が判明し現存するものでは日本最古となる酒蔵を有している。

江戸時代、一時は日本一の銘醸地として発展し、豊かな経済力を背景に俳諧をはじめとする豊かな文化が開花した伊丹郷町の歴史を今に伝えている。

工事中のため建物内には入ることができず、残念でした。

### 長岡京駅から長岡天満宮まで歩いて探訪

西国街道の史跡探訪は、9月17日の東寺見学を皮切りに、今回7回目となりました。今日は、JR長岡京駅に10時に集合し集まった人から順次5人のグループとなり一名のガイドさんに案内していただき、密を避けた散策です。長岡京駅から50m位の所にある西国街道を歩き、東寺から8KMの一里塚跡を過ぎ一文橋に着きました。

#### ① 一文橋

小畑川に架かる橋で、欄干に巨大な一文銭が飾られています。これは江戸時代何度も洪水により橋が流されたため、通行人から使用料一文（現在の約50円）を徴収し橋の修復費用とした非常に珍しい有料橋です。



#### ② 乙訓寺

聖徳太子が開いたといわれている乙訓地域で最も古い寺院です。長岡京から平安京への、移転の原因となった早良親王が785年に幽閉されていました。

又、ポタンの寺としても有名で本山である長谷寺から寄進された2株のポタンが今は2000株になっています。いまの季節は茎だけですが、4月下旬には大輪の花が咲きます。



### ③ 光明寺



ところどころにある田んぼに咲く、ピンクのコスモスを見ながら歩いていると、あっという間に光明寺に着き400円の入山料を払い中に入りました。光明寺は、1175年法然がこの地で念仏の法門を説いたのが始まりで「浄土門根元地」と言われています。参道は、緩い135段の階段があり両側の紅葉などが、紅、黄、緑と非常に美しく太陽に照らされており、至福の時

間でした。

### ④ 昼食（西山体育館）

30年前の、京都国体のバトミントン会場として建設された立派な西山体育館でそれぞれ持参のお弁当を食べ、体育館周りがあるテラスから、長岡市内を一望出来ました。



### ⑤ 長岡天満宮

現社有地周辺は、平安時代菅原道真の所領であったとされ、道真が在原業平らと共にしばしば詩歌管弦を楽しんでいた天神さんです。

天満宮の前の、八条ヶ池の中堤両側には樹齢百数十年のキリシマツツジがありました。

最後に、池の横の鳥居の前でガイドさんにお礼の挨拶をし解散となりました。（15時）



本日の感想；

今日は、7KM、2万歩と距離のある散策でしたが、快晴の中、美しい花、木、由緒ある史跡の見学、丁寧なガイドさんの説明など心身共にリフレッシュできた一日でした。

山崎から島本町まで歩いて探訪

① 関大明神社 ガイドさんの説明の中で知らない言葉 墓股(かえるまた) 寺社建築で上からの加重を支える建築様式だそうです。これでこの建物がいつ頃の時代にできたか推定できるようです。

② 水無瀬の滝 住宅地の中を歩きしんどかったが閑静場所で、すがすがしい気分になりました。水無瀬川の意味の説明 水無瀬川の水は川の途中から伏流水として地下を流れて淀川に入るとのこと、したがって川に水がなくなるので水無瀬川というそうです。

③ 水無瀬神宮 お弁当 名水百選の水をガイドさんから頂戴しました。



④ 水無瀬神宮の説明 水無瀬神宮は、後鳥羽上皇の造営になる「水無瀬離宮」の跡。承久の変後、隠岐での崩御前の置文により、水無瀬信成・親成父子が離宮跡に聖廟を建てて「水無瀬御影堂」と称したと云う

⑤ 門の説明  
門は薬医門とのこと

「石川五右衛門の手形」の看板。刀を盗みに来たが、神威に打たれて足一步も門内に入れず、神門に手形を残して立ち去ったそうです、金網に囲われ暗く、よくわかりませんでした。

⑥ 「水無瀬駒発祥地」の碑がありました。この水無瀬駒って何ですか？ 説明によると、水無瀬家で

造られた将棋の駒のことで、安土桃山時代以降に沢山の駒を制作家康には、53組の駒を納めた由。現在の駒の原形。

⑦ 島本町歴史資料館 麗天館見学

⑧ 史跡桜井の駅公園

この狭い公園にたくさんの碑がありガイドさんの説明で改めて知りました。

子別れの碑、近衛文麿揮毫 乃木希典揮毫の碑、 東郷平八郎揮毫の碑、 英国公使パークスが楠公子別れを称賛した碑、 桜井の駅の碑、など

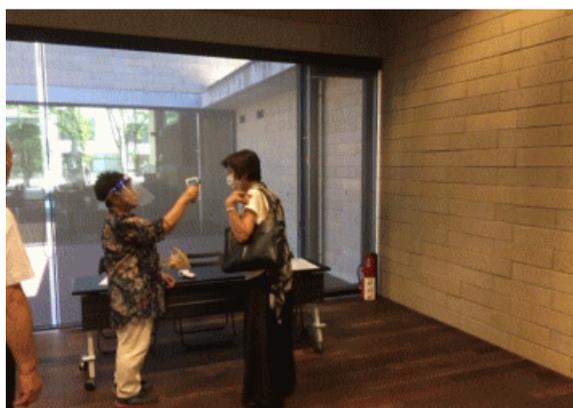
ガイドさんから 落合直文の楠公の歌、歌詞が15番まで記載されたのをいただきました。

普段は3番ぐらいまではよく書物に出ますが15番まではありません。

今日もガイドさんから今まで私の知らないいろいろな知識を頂きありがとうございました。

## 「西国街道の史跡探訪科」 ～ 北摂を中心に江戸時代の名所を探訪する ～

第8期講座のトップを切って「西国街道の史跡探訪科」が8月27日、豊中市立文化芸術センター多目的室で開講いたしました。



非接触型体温計で体温確認



受講生を迎えるクラスアドバイザー





三密を避けるために広い教室



